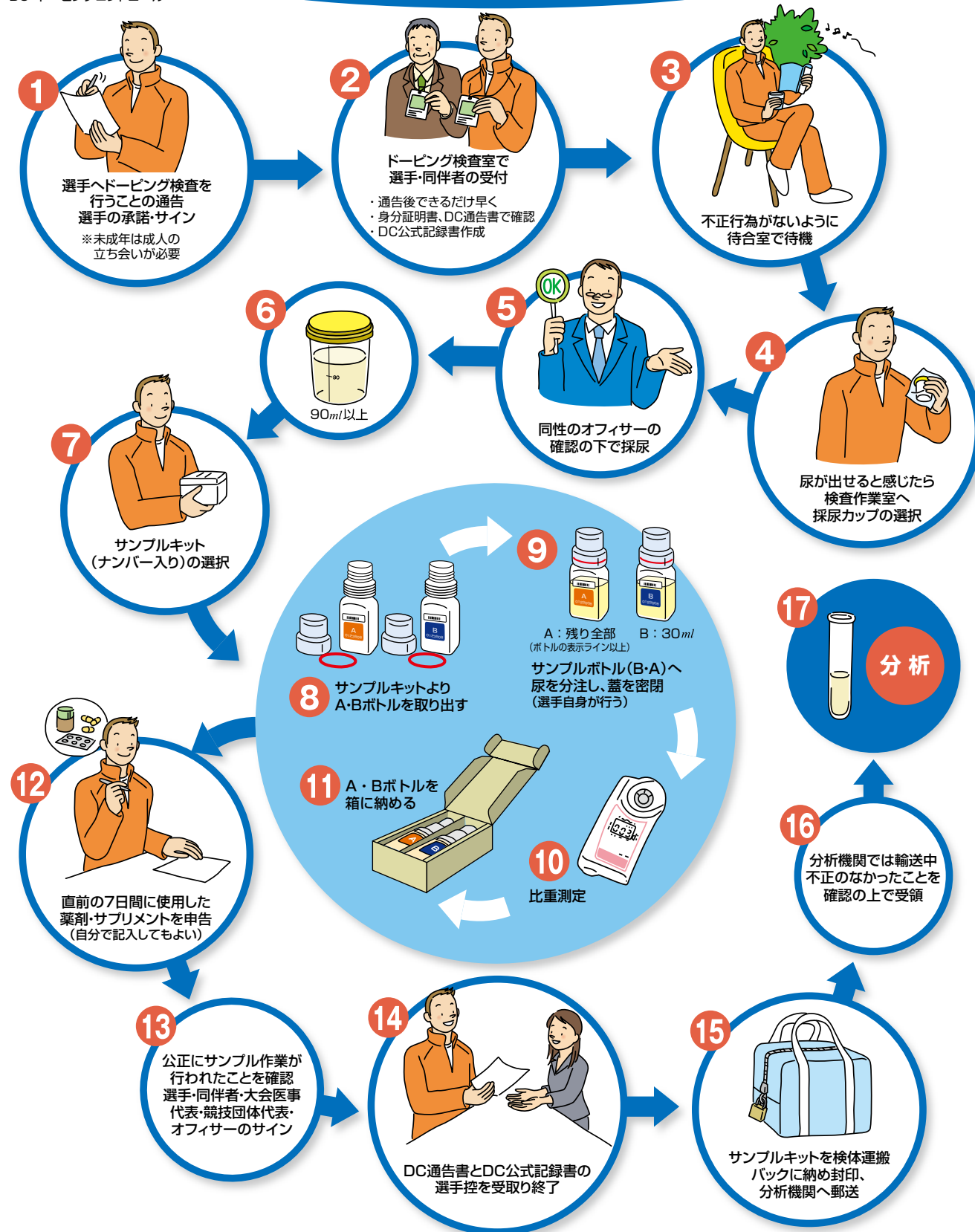


DC=ドーピングコントロール

ドーピング検査の手順(尿検査)



国民スポーツ大会におけるドーピング検査実施数

回	第58回～第75回		第76回		第77回		特 別		第78回		第79回		合 計
会 期	冬季	本大会	冬季	本大会	冬季	本大会	冬季	本大会	冬季	本大会	冬季	本大会	
開催地	青森、山形 ～青森、富山	静岡～茨城	愛知、岐阜	中止	栃木、秋田	栃木	青森、岩手	鹿児島	北海道、山形	佐賀	岡山、群馬、 秋田	滋賀	
検査数	341	2826	26	0	19	185	15	180	15	182	18	183	3990
陽性数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

ドーピング しない・させない 岡山県

2026



岡山県マスコット ももっち

公益財団法人岡山県スポーツ協会
公益財団法人日本スポーツ協会



スポーツ振興くじ助成事業

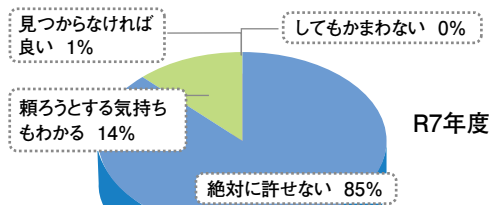
ドーピングしない・させない 岡山県



スポーツ選手の栄光は、フェアな競技、公正な記録に基づきます。禁止薬物の使用により、死亡例や肝臓障害などの健康被害も報告されています。社会における薬物汚染を防ぐ意味でも、スポーツ選手の果たす役割は大きいといえます。「ドーピングしない・させない岡山県」を合言葉に、キラリ輝きましょう。

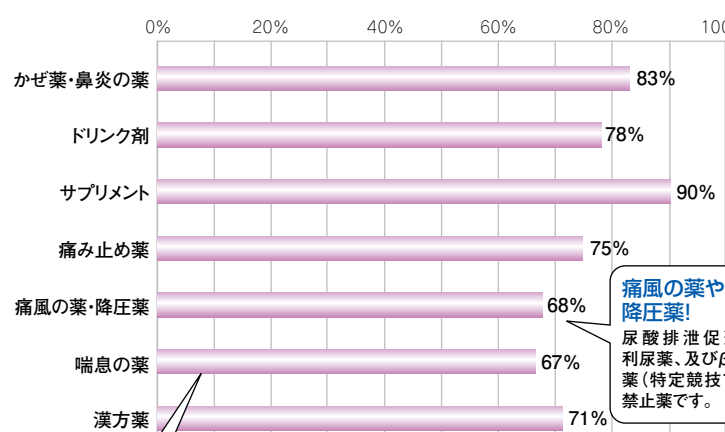
※岡山県の国スポ代表候補選手に対する令和7年度の調査ではドーピングを「絶対許せない」とする選手が85%となり、アンチ・ドーピング活動開始時の平成15年度の56%と比べて大きく向上しています。

ドーピングへの意識



令和7年度の国スポ岡山県代表候補選手に聞きました

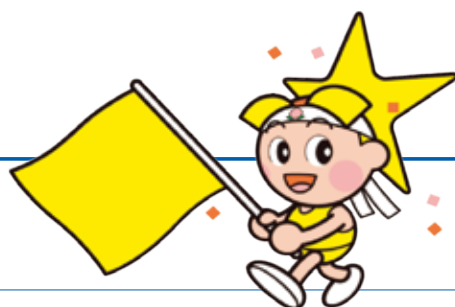
下記のものは禁止物質を含む可能性があります。



喘息の薬！
ステロイド、β₂作用薬の使用には、TUE申請が必要な場合があります。

禁止物質を含むものには注意！
必ず含有物質を確認しよう。
治療薬は医師・薬剤師に前もって相談しよう。

規則違反は厳しく罰せられます



アスリートの7つの役割と責務

- 1 ルールを理解し守る
- 2 いつでも・どこでも検査に対応
- 3 身体に摂り入れるものに責任を持つ
- 4 アスリートとしての自分の立場と責務を伝える
- 5 過去の違反を正直に伝える
- 6 アンチ・ドーピング捜査に協力
- 7 サポートスタッフの身分を開示

ドーピング禁止薬に対する問い合わせ

ルールと規則違反

TUE (治療使用特例)

ドーピング禁止物質情報提供サービス

(一社)岡山県薬剤師会
専用受付フォーム
<https://www.opa.or.jp/kenmin/doping/form.php>

(公財)岡山県スポーツ協会
TEL:086-256-7101
FAX:086-256-7105
(月～金曜日：8時30分～17時15分)

JADAウェブサイト

<https://www.playtruejapan.org/code/>

TUE申請書は英語記入が必要となります。禁止物質であっても他に治療方法がない場合など治療目的であれば、TUE申請によって使用可能となる場合があります。TUE申請をする選手は、スポーツドクター等のドーピング検査に精通した医師に相談されることをお勧めします。
JADA <https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>

●使うことができる薬リスト● (使うことができる薬の一部を示しています) *市販薬 *医療用医薬品(ジェネリック名)

1. 熱・痛み

*イブA
*タイレノールA
*バイエルアスピリン
*パファリンプレミアム
*ロキソニンS
*カロナール(アセトアミノフェン)
*セレコックス(セロコキシブ)
*ボルタレン(ジクロフェナク)
*ロキソニン(ロキソプロフェン)

2. かぜ

*バイロンPL[錠、顆粒]
*バイロンPL顆粒 Pro
*パブロンSゴールドW[錠、微粒]
*ストナファミリー
*PL配合顆粒(サラザック配合顆粒・トワチーム配合顆粒等)

3. せき・たん

*新コンタックせき止め
ダブル持続性
*ストナ去たんカプセル
*アストミン(ジメメルファン)
*フスタゾール
*ムコダイン(カルボシステイン)
*メジコン(デキストロメルファン)

4. じんましん・アレルギー

*アレルギール錠
*レスタミンコーワ糖衣錠
*アレロックス(オロパタジン)
*ザイザル(レボセチリジン)
*デザレックス
*ピラノア

5. 鼻みず・鼻づまり

*アレグラFX
*アレジオン20
*ナザールα AR
(季節性アレルギー専用)
*アルガード鼻炎
クールスプレーa

*トラマゾリン
*アラミスト
(フルカソフランカルボン酸エステル)
*ナゾネックス(モメタゾン)

6. 胃炎・胃潰瘍

*アシノンZ[錠、胃腸内服液]
*ガスター10
*ガスター(ファモチジン)
*セルベックス(テブレノ)
*タケブロン(ランソプラゾール)
*ネキシウム(エソメプラゾール)
*ムコスタ(レバミド)

7. 腹痛

*ブスコパンA錠
*スクロロンQ
*ブスコパン(ブチルスコパミン)

8. 消化不良

*エビオス錠
*パンラクミン錠
*ベリチーム配合顆粒

9. 下痢

*新ビオフェルミンS錠
*ロペラマックサット
*ラックビー微粒N
*ロペミン(ロペラミド)

10. 便秘

*コーラック
*ピコラックス
*酸化マグネシウムE便秘薬
*アミティーザ
*マグミット(酸化マグネシウム)
*ブルゼニド(センゾド)
*ラキソベロン(ピコスルファート)
*モビコール配合内用剤
*リンゼス

11. 吐き気・乗り物酔い

*センバア・QT
*マイトラベル錠
*トラベルミン配合錠
*ナウゼリン(ドンペリドン)

12. 不眠・心の不調

*ドリエル
*ソラナックス(アルプラザラム)
*デパ(エチゾラム)
*マイスリー(ゾルピデム)
*ロゼレム(ラメルテオン)
*デエビゴ
*ジェイゾロフト(セルトラリン)
*レクサプロ(エスシタロプラム)
*インチュニブ
*エビリファイ(アリピプラゾール)
*ストラテラ(アトモキセチン)

13. 筋肉の痛み・こわばり

*エア・サロンパスジェットα
*サロンパスAe
*タリージェ
*ミオナール(エペリン)
*リリカ(プレガバリン)

14. 痔

*ボラギノールM[坐剤、軟膏]
*レックH[坐剤、軟膏]
*ボラザG[坐剤、軟膏]
*ヘモクロンカプセル

15. 目薬

【感染症】
*抗菌アイリス使いきり
*ロート抗菌目薬EX
*クラビット(レボフロキサシン)

17. 抗菌・抗真菌・抗ウイルス薬

【抗菌薬】
*クラリス(クラリスロマイシン)
*クラビット(レボフロキサシン)
*サワシリン(アモキシシリン)
*ジスロマック(アジスロマイシン)
*メリアクト(セフトレネ)

【抗真菌薬】
*イトリゾール(イトラコナゾール)

【抗ウイルス薬】
*ソビラックス(アシクロビル)
*バルトレックス(バシクロビル)
*イナビル
*ゾフルーザ
*タミフル(オセルタミビル)
*ラゲブリオ
*パキロビッド

【抗ウイルス薬】
*ソビラックス(アシクロビル)
*バルトレックス(バシクロビル)
*イナビル
*ゾフルーザ
*タミフル(オセルタミビル)
*ラゲブリオ
*パキロビッド

【抗ウイルス薬】
*ソビラックス(アシクロビル)
*バルトレックス(バシクロビル)
*イナビル
*ゾフルーザ
*タミフル(オセルタミビル)
*ラゲブリオ
*パキロビッド

【抗ウイルス薬】
*ソビラックス(アシクロビル)
*バルトレックス(バシクロビル)
*イナビル
*ゾフルーザ
*タミフル(オセルタミビル)
*ラゲブリオ
*パキロビッド

18. 女性ホルモン

*プラナール配合錠
*ルナベル配合錠(アリケル配合錠)
*ディナゲスト(エノゲスト)
*ヤーズ配合錠(ドロエチ配合錠)

19. 貧血

*ファイチ
*マスケゲン錠
*フェロミア(クエン酸第一鉄ナトリウム)
*フェロ・グラデュメット

サプリメントについて

成分のはっきりしないプロテイン、サプリメントなどの使用は避けましょう。
表示されていなくても、禁止物質が含まれている可能性があります！



喘息の吸入薬

ステロイド及び、サルブタモール(サルタノール、ベネトリン)、サルメテロール(セレベント、アドエア)、ピランテロール(アノーロ、レルベア、テリルジー)、ホルモテロール(オーキス、シムピコート、ブデホル、フルティフォーム)は、TUE申請が不要です。

*サルブタモール:24時間で最大1600μg(8時間で600μgを超えない)
サルメテロール:24時間で最大200μg(8時間で100μgを超えない)
ピランテロール:24時間で最大25μg
ホルモテロール:24時間で最大54μg(12時間で36μgを超えない)

ただし、ネブライザー(噴霧器)使用の場合は、TUE申請が必要

使う前に成分を確認しましょう！

使用しない!!【禁止物質】

特に、滋養強壮薬、ドリンク剤、胃腸薬

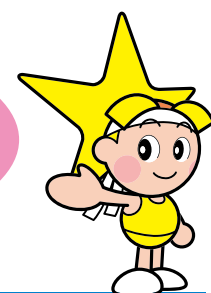
テストステロン
カイクジン
インヨウカク
イカリソウ
ストリキニーネ
ホミカ
ジャコウ
ロクジョウ

※この他にも生薬配合のものは基本的に服用しない

よく似た名前に【注意】

医薬品名が一文字違うだけでも、禁止物質を含む・含まないが変わってきます。
「アレグラFX プレミアム」「ロキソニン総合かぜ薬」は使用禁止です。

「PLAY TRUE BOOK アスリートガイド」(JADA)、「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」(日本薬剤師会)
作成：(公財)岡山県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会、(一社)岡山県薬剤師会



ステロイドまとめ

すべての注射投与経路、経口(口腔内を含む)、経直腸は、**競技会時は禁止!**
※ただし、皮膚、鼻腔内、耳、眼(目薬)、肛門周囲、吸入は申請不要です。